



Tanium™ Client管理 ユーザガイド

バージョン 1.0.1

2020年11月20日

この文書の内容は予告なく変更されることがあります。また、本書に記載の内容は「現状のまま」提供されており、正確には万全を期しておりますが、Taniumの顧客販売契約に規定されている保証を除き、明示または暗黙を問わずいかなる保証もしません。別段の規定がない限り、Taniumはいかなる責任も負いません。Taniumおよびそのサプライヤは、Tanium Inc.がかかる損害の可能性を事前に通知されていたとしても、本書の使用または使用できないことから生じる、利益損失やデータ損失をはじめとする間接的損害や特別損害、結果的損害、および付随的損害に対して一切の責任を負いません。

本書で使用されているIPアドレスは、実際のアドレスであることを意図していません。本書に記載されている例、コマンド表示出力、ネットワークポロジ図、およびその他の図は、例示の目的にのみ使用されています。例示コンテンツに実際のIPアドレスが使用されていたとしても、特別な意図はなく、偶然です。

最新のTanium製品のマニュアルについては、<https://docs.tanium.com> を参照してください。

Taniumは米国およびその他の国におけるTanium, Inc.の商標です。記載されているその他の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。

© 2020 Tanium Inc. All rights reserved.

目次

Client Managementの概要	6
デプロイプロセスの概要	6
クライアント 設定	6
クライアントの資格情報	6
宛先エンドポイントを指定する	6
他のTanium製品との統合	6
Trends	6
はじめに	8
Client Managementの要件	9
Taniumの依存関係	9
Tanium™ Module Server	9
エンドポイント	9
サポートされているオペレーティングシステム	9
ホストとネットワークセキュリティの要件	10
ポート	10
セキュリティの除外	11
インターネットのURL	12
ユーザロールの要件	13
Client Managementのインストール	20
使用を開始する前に	20
デフォルト設定でClient Managementをインポートおよび設定をする	20
デフォルト設定でClient Managementをインポートおよび設定する	21
サービスアカウントを構成する	21

インストールを確認する	21
(Tanium 7.2.x、7.3.xのみ)Tanium公開キーをアップロードする	21
エアギャップ環境用のクライアントインストールファイルを追加する	22
次にやるべきこと	22
Tanium Clientのデプロイ	23
デプロイ先を計画する	23
Linux、MacOS、またはUNIXエンドポイントへのデプロイを準備する	23
Windowsエンドポイントへのデプロイの準備をする	24
Tanium Clientの設定をする	25
資格情報を設定する	26
デプロイの設定をする	27
デプロイ状況を監視する	30
デプロイ手順	30
パッチ適用ステータス	31
Client Managementのトラブルシューティング	32
ログを収集する	32
デプロイをトラブルシューティングする	32
問題：新規デプロイを行うと、エンドポイントへのデプロイが試みられることなく即座に完了ステータスに切り替わる	32
ソリューション	32
問題：エンドポイントインストールステータス = ERROR_ACQUIRE_LOGS_FAIL	32
ソリューション	33
問題：エンドポイントインストールステータス = ERROR_CONNECTION_FAIL	33
ソリューション	33
問題：エンドポイントインストールステータス = ERROR_CONNECTION_FAIL	34

ソリューション	34
問題: エンドポイントのインストールステータス = ERROR_ACQUIRE_LOGS_FAIL	34
ソリューション	35
Client Managementをアンインストールする	35

Client Managementの概要

Client Managementを使用すると、TaniumTM ClientをWindows、Linux、Mac、Solaris、AIXエンドポイントのターゲットセットにデプロイできます。

デプロイプロセスの概要

クライアントをデプロイするには、まずクライアントの設定を行って資格情報を設定します。次に、これらの設定を使用して、特定の非管理エンドポイントセットを対象にしたデプロイを作成できます。Tanium Module Serverによって、宛先のエンドポイントにTanium Clientがインストールされます。結果に応じて、設定を再利用してデプロイを再試行するか、または異なるセットのエンドポイントを宛先にすることができます。

クライアント設定

クライアント設定は、デプロイするTanium Clientのバージョン、およびクライアントを関連付けるTanium Serverをはじめとする、デプロイに固有のクライアント設定で構成されます。クライアント設定には、クライアントのインストール後にエンドポイントを識別するタグを含めることもできます。

クライアントの資格情報

クライアント資格情報は、Tanium Clientのインストール時に、Module Serverがエンドポイントコンピュータにログインするために使用する資格情報のリストです。この資格情報のリストは、デプロイ内の各エンドポイントに対して定義された順序で試されます。

宛先エンドポイントを指定する

デプロイの作成と実行では、IPアドレスかIPアドレス範囲、コンピュータ名、TaniumTM Discoverからのラベルで宛先のエンドポイントを指定できます。

他のTanium製品との統合

Trends

Client Managementには、デプロイの成功と失敗、およびデプロイされたTanium Clientのバージョンなど、Client Managementの概念のデータ視覚化を提供するTrendsボードがあります。

Tanium Client Managementボードには、次のパネルがあります。

- デプロイされたTanium Clientのバージョン

- デプロイされたTanium Clientのバージョン - 最新
- インストール成功
- デプロイ失敗

Client Managementにより提供されているトレンドボードのインポート方法の詳細については、[Tanium Trendsユーザガイド: 初期ギャラリーをインポートする](#)を参照してください。

この文書には、第三者が提供するコンテンツや製品(ハードウェアおよびソフトウェアを含む)、サービス(「第三者のアイテム」)に対するアクセス手段や、第三者のそうした情報そのものが含まれていることがあります。Tanium Inc.およびその関連会社は、(i)それらの第三者のアイテムに対して責任を負うものではなく、第三者のアイテムに関するすべての保証および責任を明示的に放棄し、(ii)お客様とTaniumとの間の有効な契約に明記されているのでない限り、かかる第三者のアイテムへのアクセスや、利用に起因する損失、費用または損害について責任を負いません。

また、この文書は、特定の第三者のアイテムの使用やTanium製品との組み合わせを求めるものでも、想定するものでもありません。そのような組み合わせによって生じた知的財産権の侵害について、Taniumおよびその関連会社は一切責任を負いません。第三者のアイテムとTanium製品の組み合わせが適切であるかどうか、また第三者の知的財産権を侵害しないかどうかの判定の責任はTaniumではなくお客様にあります。

はじめに

1. Tanium Client Managementをインストールおよび設定します。詳細については、[20ページのClient Managementのインストール](#)を参照してください。
2. クライアントの設定をします。これらの設定では、プラットフォーム、クライアントバージョン、Tanium Server名など、エンドポイントにインストールするクライアントのプロパティを定義します。
3. 資格情報を構成します。これらの資格情報では、クライアントのインストールに必要なユーザ名とパスワードを指定します。資格情報の優先度は、各ユーザ名とパスワードの組み合わせを試す順序を定義します。
4. Tanium Clientをデプロイします。設定したクライアントや資格情報の設定など、デプロイのための設定を指定します。Tanium Clientをインストールするエンドポイントをデプロイ先として指定し、デプロイをスケジュールし、デプロイに使用する方法を定義します。
5. 結果を監視します。デプロイの結果を確認し、必要に応じて再デプロイします。

Client Managementの要件

Client Managementをインストールおよび使用するにあたっては、要件を確認してください。

Taniumの依存関係

Client Managementのライセンスに加えて、ご使用の環境が以下の要件を満たしていることを確認してください。

コンポーネント	要件
Tanium™ Core Platform	7.2以降
Taniumの製品	<p>Client Managementをインストールしたときに[Install with Recommended Configurations (推奨設定でインストール)]をクリックした場合、Tanium Serverはライセンス契約されたすべてのモジュールを自動的に一括インストールします。そうでない場合は、Tanium Consoleユーザガイドの説明に従って、Tanium Discoverを手動でインストールする必要があります。Taniumモジュールの管理を参照してください。</p> <p>Tanium Discover 3.1以降は任意です。Discoverを使用すると、Discoverタグに基づいて宛先のエンドポイントを指定できます。</p>

Tanium™ Module Server

Client Managementがインストールされると、Module Serverのホストコンピュータ上でサービスとして実行されます。使用状況によりますが、Module Serverへの影響は小さいです。

エンドポイント

Tanium Clientでサポートされているオペレーティングシステムのリストについては、[Tanium Clientガイドを参照してください。](#)[ホストシステム要件](#)を参照してください。

サポートされているオペレーティングシステム

Client Managementでは、以下のエンドポイントオペレーティングシステムがサポートされています。

オペレーティングシステム	バージョン
Microsoft Windows Server	2008 R2 Service Pack 1以降
Microsoft Windows Workstation	7以降
macOS	Tanium Clientサポートと同じです。 Tanium Clientユーザガイド: ホストシステム要件 を参照してください。
Linux	Tanium Clientサポートと同じです。 Tanium Clientユーザガイド: ホストシステム要件 を参照してください。
Solaris	Tanium Clientサポートと同じです。 Tanium Clientユーザガイド: ホストシステム要件 を参照してください。
AIX	Tanium Clientサポートと同じです。 Tanium Clientユーザガイド: ホストシステム要件 を参照してください。

ホストとネットワークセキュリティの要件

Client Managementを実行するには、特定のポートとプロセスが必要です。

エンドポイントのリモートインストールの準備については、[23ページのLinux、MacOS、またはUNIXエンドポイントへのデプロイを準備すると24ページのWindowsエンドポイントへのデプロイの準備をする](#)を参照してください。

ポート

Client Managementとの通信には、以下のポートが必要です。

コンポーネント	ポート	方向	目的
Module Server 側 (Windows)	22/TCP 135/TCP 139/TCP 445/TCP	アウトバウンド	クライアントのインストール中のエンドポイントとの通信 RPCはModule Server側から有効にする必要があります

コンポーネント	ポート	方向	目的
Module Server 側 (Windows 以外)	22/TCP 135/TCP 445/TCP	アウトバウンド	クライアントのインストール中のエンドポイントとの通信
エンドポイント側 (Windows)	17472、135、445	インバウンド、アウトバウンド	クライアントのインストール中のエンドポイントとの通信
エンドポイント側 (Windows 以外)	17472、22	インバウンド、アウトバウンド	クライアントのインストール中のエンドポイントとの通信 <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> <p>ヒント: MacOSシステムでは、このポートが自動的に開かれます</p> </div>

セキュリティの除外

未知のホストシステムプロセスを監視およびブロックするためにセキュリティソフトウェアが環境内で使用されている場合、セキュリティ管理者はTaniumプロセスを干渉なく実行できるように除外を作成する必要があります。

表 1: Client Managementのセキュリティ除外

対象デバイス	プロセス
Module Server	"<Tanium Module Server>\services\client-management-service\node.exe" service.js
	<Tanium Module Server>\services\twsm-v1\twsm.exe
エンドポイント (Windows 32-bit)	\Program Files\Tanium\ (Clientインストール中) \Program Files\Tanium\Tanium Client\
エンドポイント (Windows 64-bit)	\Program Files (x86)\Tanium\ (Clientインストール中) \Program Files (x86)\Tanium\Tanium Client\
エンドポイント (macOS)	/Library/Tanium/ (Clientインストール中) /Library/Tanium/TaniumClient/
エンドポイント (Linux, Solaris, AIX)	/opt/Tanium/ (Clientインストール中) /opt/Tanium/TaniumClient/

インターネットのURL

不明なURLを監視してブロックするために環境にセキュリティソフトウェアが導入されている場合、セキュリティ管理者は以下のURLをホワイトリストに追加しなければならないことがあります。

- <https://content.tanium.com>

ユーザロールの要件

表 2: Client Managementユーザロールのアクセス権限

アクセス許可	Client Management管理者	Client Managementユーザ	Client Management API ユーザ	Client Management監査	Client Management資格情報管理者	Client Management読み取り専用ユーザ
Client-managementの表示¹ Client Managementワークベンチの表示	2	2	2		2	2
Client-management設定の読み取り クライアントおよびデプロイ設定の読み取り	2					

アクセス許可	Client Management 管理者	Client Management ユーザ	Client Management API ユーザ	Client Management 監査	Client Management 資格情報管理者	Client Management 読み取り専用ユーザ
<p>Client-management 設定の書き込み</p> <p>クライアントおよびデプロイ設定の作成と変更</p>						
<p>Client-management 資格情報の読み取り</p> <p>資格情報リストの読み取り。ただし、関連するパスワードおよびキーデータの表示は不可</p>	2				2	

アクセス許可	Client Management 管理者	Client Management ユーザ	Client Management API ユーザ	Client Management 監査	Client Management 資格情報管理者	Client Management 読み取り専用ユーザ
<p>Client-management 資格情報の書き込み</p> <p>資格情報リストの作成と変更</p>					2	
<p>Client-management 資格情報の表示</p> <p>資格情報リストのパスワードまたはキーデータの表示</p>						

アクセス許可	Client Management 管理者	Client Management ユーザ	Client Management API ユーザ	Client Management 監査	Client Management 資格情報管理者	Client Management 読み取り専用ユーザ
Client-management デプロイの読み取り クライアントデプロイに関するデータの表示	2	2				
Client 管理 デプロイの書き込み 非管理エンドポイントへの Tanium Client のデプロイの作成						

アクセス許可	Client Management 管理者	Client Management ユーザ	Client Management API ユーザ	Client Management 監査	Client Management 資格情報管理者	Client Management 読み取り専用ユーザ
<p>Client管理設定の書き込み</p> <p>Client Managementモジュールでのグローバル設定への書き込みアクセス</p>						
<p>Client管理監査ログの読み取り</p> <p>APIでの監査ログを読み取り</p>						

アクセス許可	Client Management 管理者	Client Management ユーザ	Client Management API ユーザ	Client Management 監査	Client Management 資格情報管理者	Client Management 読み取り専用ユーザ
Client 管理のAPIの使用 Client Management モジュールでのグローバル設定への書き込みアクセス						
<p>¹ Client Managementをインストールするには、管理者の予約済みロールが必要です。</p> <p>² 提供された許可を示します。</p>						

表 3: Client Managementのユーザーロールが高度な場合のアクセス権限

アクセス許可	アクセス許可コンテンツセット	Client Management管理者	Client Managementユーザー	Client Management API ユーザー	Client Management監査	Client Management資格情報管理者	Client Management読み取り専用ユーザー
Execute Plugin (プラグインの実行)	Tanium Client 管理						
Execute Plugin (プラグインの実行)	予約						

表 4: Client Managementのオプションロール

ロール	許可されるアクション
Discover Read Only User (読み取り専用ユーザー)	サービスアカウントの場合: Discover ラベルに基づくエンドポイントへのデプロイ

コンテンツセットとアクセス権限についての詳細および説明は、[Tanium Core Platform ユーザーガイド: ロールの管理](#)を参照してください。

Client Managementのインストール

[[Tanium Solutions \(Taniumソリューション\)](#)]ページを使用して、Client Managementをインストールし、自動または手動設定を選択します。

- **デフォルト設定での自動設定** (Tanium Core Platform 7.4.2以降のみ): Client Managementが、必要な依存関係およびその他の選択された製品とともにインストールされます。インストール後、Tanium Serverは推奨されるデフォルト設定を自動的に設定します。このオプションは、ほとんどのデプロイのベストプラクティスです。Client Managementの自動設定の詳細については、[20ページのデフォルト設定でClient Managementをインポートおよび設定をする](#)を参照してください。
- **手動設定(カスタム設定)**: Client Managementのインストール後に、必要な設定を手動で行う必要があります。このオプションは、推奨されるデフォルト設定とは異なる設定をClient Managementが必要とする場合にのみ選択します。詳細については、[21ページのデフォルト設定でClient Managementをインポートおよび設定する](#)を参照してください。

使用を開始する前に

- [リリースノート](#)をお読みください。
- [9ページのClient Managementの要件](#)を確認してください。
- Client Managementのユーザに対して、正しいロールを割り当てます。[13ページのユーザロールの要件](#)を確認します。Client Managementソリューションをインポートするには、管理者の予約済みロールが割り当てられている必要があります。

デフォルト設定でClient Managementをインポートおよび設定をする

自動設定でClient Managementをインポートした場合、Client Managementサービスアカウントは、モジュールのインポートに使用したアカウントに設定されます。

Client Managementをインポートして、デフォルト設定を適用するには、次のドキュメントに記載された手順の実行時に、[Apply Tanium recommended configurations (Tanium)において推奨される構成を適用]チェックボックスをオンにしてください: [Tanium Consoleユーザガイド: Taniumモジュールの管理](#)を参照してください。インポート後、正しいバージョンがインストールされていることを確認します。[20ページのClient Managementのインストール](#)を参照してください。

デフォルト設定でClient Managementをインポートおよび設定する

デフォルト設定を自動的に適用しないでClient Managementをインポートするには、[Tanium Consoleユーザガイド: Taniumのコンテンツパックを管理する](#)の手順に従ってください。インポート後、正しいバージョンがインストールされていることを確認します。[20ページのClient Managementのインストール](#)を参照してください。

サービスアカウントを構成する

このサービスアカウントは、Client Managementのいくつかのバックグラウンド処理を実行するユーザです。このユーザには、次のロールとアクセス権が必要です。

- **Content Administrator**と**Tanium Client Administrator**、または**Tanium Administrator**
- (任意)**Discover Read Only User(Discover読み取り専用ユーザ)** ロール。Tanium Discoverで作成されたラベルに基づいてエンドポイントにデプロイします。

Client Managementのアクセス権限の詳細については、[13ページのユーザロールの要件](#)を参照してください。

1. メインメニューで[**Tanium Services (Taniumサービス)**] > [**Tanium Client Management (Tanium Client管理)**]をクリックして、Client Managementのホームページを開きます。
2. [Settings (設定)]をクリックして、[**Service Account (サービスアカウント)**]タブを開きます。
3. サービスアカウントの設定を更新し、[**Save (保存)**]をクリックします。

インストールを確認する

Client Managementがインストールされていることを確認するには、[**Tanium Solutions (Taniumソリューション)**]ページに移動して、インストールしたバージョンを確認します。

(Tanium 7.2.x、7.3.xのみ)Tanium公開キーをアップロードする

Tanium Server 7.2.xまたは7.3.xを使用している場合は、Tanium公開キーをアップロードします。この公開キーにより、インストールするクライアントとTanium Serverとの間の接続が可能になります。Tanium Server 7.4以降では、この設定は自動的に行われます。

1. Client Managementのホームページで**設定** をクリックします。
2. [**Choose File (ファイルの選択)**]をクリックし、ご使用のTanium Server用のtanium.pubファイルを選択します。tanium.pubファイルは、Tanium Serverのインストールディレクトリの最上位にあります。
3. [**Upload (アップロード)**]をクリックします。

エアギャップ環境用のクライアントインストールファイルを追加する

Tanium Module Serverとcontent.tanium.comとの間の通信を有効にできない場合は、テクニカルアカウントマネージャに連絡してTanium Module Server側でクライアントインストーラを設定してください。

次にやるべきこと

Client Managementの使い方の詳細については、[8ページのはじめに](#)を参照してください。

Tanium Clientのデプロイ

非管理エンドポイントにTanium Clientをデプロイするには、Module Serverから接続を受け入れるようにエンドポイントを設定します。クライアント設定と資格情報のセットを作成して、デプロイするクライアントのタイプと、インストール実行のためにエンドポイントにログインするのに必要な情報を定義します。最後に、これらの設定を使用して、特定のエンドポイントセットを対象にしたデプロイを作成します。

重要: Tanium Clientがインストールされていないエンドポイントにのみインストールできます。Tanium Clientをアップグレードするには、[Tanium Clientユーザガイド: Tanium Clientのアップグレード](#)を参照してください。

デプロイ先を計画する

Tanium Clientは、単一のIPかコンピュータ名、またはIP範囲かCIDR範囲、Discoverラベルにデプロイできます。

Discoverで定義された非管理インターフェイスにデプロイする場合は、ラベルを作成して、そのラベルをデプロイ先として使用できます。たとえば、`First Seen in the last 30 minutes AND Computer Id = "0"` (最近30分の間に初めて検出されたコンピュータで、かつコンピュータIDが"0"のコンピュータ)という条件でNew Computers(新規コンピュータ)ラベルを作成します。Discoverでのラベルの作成についての詳細は、[Tanium Discoverユーザガイド: ラベル](#)を参照してください。

Linux、MacOS、またはUNIXエンドポイントへのデプロイを準備する

1. エンドポイントが求める認証方式に基づいて、パスワードまたはSSHキーベースの認証を設定します。
たとえば、Amazon Linuxではキーベースの認証が必要です。エンドポイント側のSSHキーベースの認証を必ず有効にしてください。さらに、管理者ユーザアカウント向けに、`sudoers`ファイルでNOPASSWDを有効にします。このユーザ名とパスワードを資格情報リストに追加します。これにより、ユーザの管理者アクセス権限を昇格させるために、パスワードではなくキーを使用し、Tanium Clientをインストールしてサービスを開始できるようになります。
2. Module Serverからエンドポイントへの、TCPポート22(SSHポート、設定変更可能)を使った通信を許可します。詳細については、[10ページのホストとネットワークセキュリティの要件](#)を参照してください。

3. エンドポイント側の、SSH経由で開始されるリモートインストールを妨げる可能性のあるホストベースのファイアウォール、およびその他セキュリティツールを設定します。詳細については、[10ページのホストとネットワークセキュリティの要件](#)を参照してください。
4. rootアカウントを使用してインストールする場合は、sshd_configでrootログインを許可していることを確認します。
5. Tanium Clientのデプロイに使用するのと同じ資格情報を使用し、SSHでリモートシステムにログインできることを確認します。

Windowsエンドポイントへのデプロイの準備をする

1. ターゲットのエンドポイント側の、Windowsファイルとプリンタの共有、およびRPCを有効にします。これらの設定は、インストール時にのみ有効にする必要があります。インストール後は共有とRPCを無効にできます。
2. エンドポイント側の、ホストベースのファイアウォールおよびその他のセキュリティツールを設定します。これらのコンポーネントは、RPC経由で開始されたリモートインストールを妨げる可能性があります。詳細については、[10ページのホストとネットワークセキュリティの要件](#)を参照してください。
3. Tanium Module Serverホストコンピュータから、Tanium Clientをデプロイするエンドポイントへの、ポート135およびポート445を使ったTCP通信を許可します。詳細については、[10ページのホストとネットワークセキュリティの要件](#)を参照してください。
4. Tanium Clientのデプロイに使用する資格情報で、PSEXECまたはWMICのコマンドラインユーティリティを使用して、リモートシステムにログインできることを確認します。例：

```
psexec \\192.168.1.130 -u Administrator cmd /c dir  
C:\Users\Administrator\Documents  
wmic /node:"192.168.1.130" /user:"Administrator" useraccount list brief
```

注意：ログインイベント中にWindows資格情報を処理すると、デプロイを開始しているソースシステムのコマンドライン引数と、リモートアクセスしているエンドポイントのメモリにユーザ名とパスワードが現れることがあります。クライアントのデプロイに使用する資格情報を保護するには、次のいずれかの方法を使用します。

- デプロイ後に削除される一時的なアカウントを使用する。
- クライアントのデプロイが完了したら、アカウントのパスワードを無効にするか変更する。

Tanium Clientの設定をする

クライアント設定では、クライアントデプロイ用のTanium Server、プラットフォーム、インストールディレクトリを定義します。複数のクライアント設定をして、さまざまなタイプの環境にデプロイできます。

1. [Client Management (クライアント管理)]メニューで、[**Client Settings (クライアント設定)**]をクリックします。[**Create (作成)**]をクリックします。
2. デプロイを実行するTanium ServerのIPアドレスまたはホスト名を指定します。
3. Tanium Clientをインストールするエンドポイントのプラットフォームを選択します。インストールディレクトリはデフォルト値を使用するか、あるいはカスタム値を指定することができます。インストールディレクトリを指定したら、ラベルをデプロイ先

Create Client Settings

Configure the client platforms and versions that you want to install on your endpoints and then Tanium Server that is going to perform the installation

* Required

Name *

Tanium Server Names *

Client Platforms *

macOS × Windows ×

Install Directory on Windows

Install Directory on Linux

Log Level

Client Port

Client Version

Install latest 7.4 client

Client Settings

[Add Client Setting](#)

[Save](#) [Cancel](#)

に使用できます。

4. **[Save (保存)]**をクリックします。

資格情報を設定する

クライアントの資格情報は、Tanium Clientをインストールするターゲットエンドポイント用のユーザ名とパスワードの組み合わせリストです。

Mac OSおよびLinuxエンドポイントでは、キーまたはキーフレーズを指定することもできます。

1. [Client Management (クライアント管理)]メニューで[Credentials (資格情報)]をクリックします。[Create (作成)]をクリックします。
2. 各種オペレーティングシステムごとに資格情報リストの名前と、試しに使用するユーザ名とパスワードのセットを指定します。

Tanium > Tanium Client Management > Credentials >

Create Credentials

* Required

Name *

Morrisville

Windows Credentials

tadmin1

user52

+ Add

All Other Credentials (Mac OSX, Linux)

macadmin

Key

Keyphrase

1zw%ILcNMi6P

+ Add

Save Cancel

3. [Save (保存)]をクリックします。

デプロイの設定をする

1. [Client Management (クライアント管理)]メニューで[Deployments (デプロイ)]をクリックします。[Create (作成)]をクリックします。
2. デプロイの分かりやすい名前を指定し、設定したクライアント設定と資格情報を選択します。

3. 宛先を設定します。宛先エンドポイントは、単一のIPかコンピュータ名、IP範囲またはCIDR範囲、Discoverラベルで指定できます。discoverラベルの設定についての詳細は、[Tanium Discoverユーザガイド：ラベル](#)を参照してください。
4. 「デプロイ方法の選択」を参照してください宛先のエンドポイントのセットに応じて、Windowsの場合はSMB、Linuxの場合はSSHを追加します。その他のデプロイ方法の設定は、デフォルト値のままにするか、必要に応じて調整できます。

Create Deployment

* Required

Deployment Name *

Morrisville

Description

Client Configuration *

Morrisville

Credentials List *

Morrisville

Targeting

Ip Range

192.168.1.1-192.168.1.50

Method

smb x ssh x

SSH Ports *

22

Retry Delay *

60

Delay between connection retries (in seconds)

Retry Limit *

5

Max connection attempts per IP

Install Delay *

60

Delay between install attempts (in seconds)

Install Limit *

5

Max concurrent installs

Save

Save And Deploy

Cancel

5. **[Save (保存)]**をクリックしてデプロイを実行せずに保存するか、**[Save and Deploy (保存してデプロイ)]**をクリックしてすぐにデプロイします。保存後にデプロイを開始するには、**デプロイの開始** をクリックします。

デプロイ状況を監視する

クライアント管理

Tanium > Tanium Client Management > Deployments >

Install to all Unmanaged Devices

Status	Complete	Not Started	Running	Failed	N/A	Total Endpoints
completed	61	-	-	7	2	70

Items
70

Address	Install Status	Status Details
▶ 10.0.16.6	COMPLETE	Cleanup via SSH successful.
▶ 10.0.16.13	ERROR_ACQUIRE_LOGS_FAIL	Log acquisition failed.
▶ 10.0.16.16	ERROR_ACQUIRE_LOGS_FAIL	Log acquisition failed.
▶ 10.0.16.20	COMPLETE	Cleanup via SSH successful.
▶ 10.0.16.38	COMPLETE	Cleanup via SSH successful.
▶ 10.0.16.48	FAILED	Failed to distribute installation files to endpoint.
▶ 10.0.16.92	FAILED	Installation failed.
▶ 10.0.16.130	FAILED	Installation failed.
▶ 10.0.16.132	COMPLETE	Cleanup via SSH successful.
▶ 10.0.16.160	COMPLETE	Cleanup via SSH successful.
▶ 10.0.16.182	FAILED	Failed to distribute installation files to endpoint.
▶ 10.0.16.187	COMPLETE	Cleanup via SSH successful.
▶ 10.0.16.193	COMPLETE	Cleanup via SSH successful.
▶ 10.0.16.206	COMPLETE	Installation bootstrap service result file indicates completion.
▶ 10.0.16.209	COMPLETE	Installation bootstrap service result file

メニューで**[Deployments (デプロイ)]**をクリックします。**[Name (名前)]**列で名前をクリックします。宛先エンドポイントのリストを表示する方法で、デプロイのステータスを確認できます。

デプロイ手順

デプロイを開始すると、次のアクションが実行されてTanium Clientがインストールされます。

1. 宛先エンドポイントにpingを実行して、オンラインであることを確認します。
2. pingに回答するエンドポイントのオペレーティングシステムを検知します。

3. 試しに、定義した資格情報リストの資格情報を使用して、インストールするエンドポイントにログインしてみます。
4. Tanium ServerのTanium公開キーファイルをエンドポイントにコピーします。
5. エンドポイントにTanium Clientをインストールするバージョンとインストール場所は、デプロイするクライアント設定で定義します。
6. インストールが完了したことを確認します。

パッチ適用ステータス

デプロイのステータス次のいずれかになります。

- インストールが完了しました
- インストールに失敗しました
- 適用外

デプロイのトラブルシューティングの詳細については、[32ページのデプロイをトラブルシューティングする](#)を参照してください。

Client Managementの トラブルシューティング

トラブルシューティングのために情報を収集してTaniumに送信するには、ログおよびその他関連情報を収集します。

ログを収集する

情報は、ブラウザでダウンロードできるZIPファイルとして保存されます。

1. Client Managementのホームページでヘルプ をクリックし、[**Troubleshooting (トラブルシューティング)**]タブをクリックします。
2. [**Download Debug Package (デバッグパッケージのダウンロード)**]をクリックします。
tanium-client-management-support.zipファイルがローカルのダウンロードディレクトリにダウンロードされます。
3. Taniumサポートケースフォームにzipファイルを添付するか、担当のテクニカルアカウントマネージャ(TAM)に送信します。

Tanium Client Managementのログ情報は、のservices\client-management-filesディレクトリの \Program Files\Tanium\Tanium Module Server\client-management.logファイルに記録されます。

デプロイをトラブルシューティングする

問題: 新規デプロイを行うと、エンドポイントへのデプロイが試みられることなく即座に完了ステータスに切り替わる

Module Serverによるクライアントバイナリのダウンロードで問題が発生しています。

ソリューション

TDownloaderログにダウンロードエラーがないか確認してください。このログがある場所については、[Tanium Core Platformデプロイリファレンスガイド : TDownloaderのログ](#)を参照してください。

問題: エンドポイントインストールステータス = ERROR_ACQUIRE_LOGS_FAIL

デプロイのログメッセージに、次のメッセージが含まれています。


```
Deployment Result Generated: Necessary file(s) missing on disk: C:\Program Files\Tanium\Tanium Module Server\services\client-management-files\deployment-runner-data\bc6bf6fd-0388-4f2d-9120-860cac75e8d4\tanium.pub
```

ソリューション

tanium.pubファイルをアップロードしてください。[21ページの\(Tanium 7.2.x、7.3.xのみ\)Tanium 公開キーをアップロードする](#)を参照してください。

問題: エンドポイントインストールステータス = ERROR_CONNECTION_FAIL

デプロイのログメッセージに、次のメッセージが含まれています。

```
Deployment Result Generated: All 1 connection attempt(s) resulted in no response from the target.
```

ソリューション

1. 資格情報に指定されたユーザ名を確認します。資格情報はアクティブかつ有効である必要があります。ドメインが正しく追加されていることを確認します。たとえば、ドメインアカウントであればdomain\username、ローカルエンドポイントアカウントであればusernameの形式です。
2. 資格情報に指定されたパスワードで、有効かつ期限切れしていないことを確認します。
3. 宛先エンドポイントのファイアウォールとネットワークデバイスのファイアウォールの両方をチェックします。ファイアウォールによってModule Serverが宛先エンドポイントへの接続を開始できない可能性があります。139および445のSMBポートが開いている必要があります。SSHポート22が開いている必要があります。次のテスト方法でポートを確認します。
 - ネットワーク接続のテスト:
 - Windows PowerShell: `Test-NetConnection -computer ip_address -port port_number`
 - Linux: `telnet, nc / netcat`
 - TanOSネットワークステータスの確認: 次を参照してください。[Tanium Appliance展開ガイド: サポートメニュー](#)。
4. (Windowsエンドポイント) クライアントが非ドメイン参加の場合は、Windowsレジストリを編集して、リモートインストールを許可する必要があります。Active Directory環境では、たいいてい管理共有は事前に利用できるようになっています。ドメインに参加していないスタンドアロンのマシンの場合は、十分な権限のあるc\$に到

達できるように、admin共有を有効にしなければならないことがあります。Windows 7および8のコンピュータでは、次のレジストリキーを追加して再起動することで、スタンドアロンマシンの管理共有を有効にします。

```
Hive: HKEY_LOCAL_MACHINE
キー: Software\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Policies\System
Name: LocalAccountTokenFilterPolicy
Data Type: REG_DWORD
Value: 1
```

重要: 管理共有は、WindowsオペレーティングシステムのHomeエディションでは使用できません。

問題: エンドポイントインストールステータス = ERROR_CONNECTION_FAIL

デプロイのログメッセージに、次のメッセージが含まれています。

```
Command resulted in error: エラー:Connection to 'SSH Client for
'192.168.24.11'' was not established
```

ソリューション

1. クライアントの設定とデプロイの設定を確認します。接続方法としてはSSHのみを使用しながら、デプロイのあるWindowsエンドポイントを宛先に指定している可能性があります。
2. 宛先のLinuxエンドポイントでSSHが有効で、かつポート22に設定されていることを確認します。
3. 資格情報に指定されたユーザ名を確認します。資格情報はアクティブかつ有効である必要があります。ドメインが正しく追加されていることを確認します。たとえば、ドメインアカウントであれば`domain\username`、ローカルエンドポイントアカウントであれば`username`の形式です。
4. 資格情報に指定されたパスワードで、有効かつ期限切れしていないことを確認します。

問題: エンドポイントのインストールステータス = ERROR_ACQUIRE_LOGS_FAIL

デプロイのログメッセージに、次のメッセージが含まれています。

```
SMB 'mkdir' command exited with exit code 1.
```

ソリューション

Tanium Clientがすでにインストールされているエンドポイントにデプロイしていないことを確認します。エンドポイントに削除の完了していないTanium Clientがあるか、または別のTanium環境を指し示すTanium Clientのインストールが存在する可能性があります。

Client Managementをアンインストールする

1. メインメニューから、[**Tanium Solutions (Taniumソリューション)**]をクリックします。
2. [**Tanium Content (Taniumコンテンツ)**]セクションで[**Client Management (Client管理)**]行を選択します。
3. [**Uninstall Solution (ソリューションのアンインストール)**]をクリックします。[**Uninstall (アンインストール)**]をクリックしてプロセスを完了します。